



発行 公益社団法人
武蔵野市シルバー人材センター
編集 広報編集委員会
武蔵野市中町 3-5-16
電話 0422-55-1231 (代)
URL <http://www.musashino-sc.or.jp/>

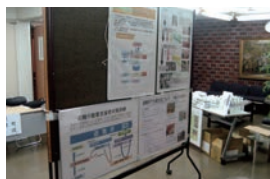
201(夏)号 もくじ

■平成28年度定時総会	1
■平成28年度理事、班長・副班長一覧	2
職員担当表	3
■研修委員会の現状と今後	4
■私のふるさと	5
■武蔵野・ぶらり・時空旅	6～7
■ひろば、むさしのSCトピックス、新入会員、 お亡くなりになった方、編集後記	8

*全ページ敬称は省略させていただいております。

平成28年度定時総会

今年度の定時総会が6月24日武蔵野公会堂ホールにて行われた。エントランス内には市役所防災課の展示品「大地震発生時の対応方法、一時集合場所・避難所にある防災設備、避難所での食生活の話、医療トリアージの流れ」と缶詰のおかゆ、クラッカー、水のうち1品が出席者に渡された(今回武蔵野市は熊本地震災害救援物資に非常食を提供したので品数不足とのこと)。



市役所防災課によるパネル展示

午後1時より始まった総会には、武蔵野市長はじめ3氏の来賓、全役員、当会員も大勢出席した。

進行は伏野嘉高総務部会長の司会挨拶から始まり、開会の辞が北村克弘副会長、そして山中一成会長の挨拶は、4月の「絆」200号でご覧のように当初は生きがい、健康、収入のキーワードで始まった。



山中会長の挨拶

その後38年の歴史の中で社会情勢も種々変り少子高齢化時代の今、当センターの存在が大きく、その役割は重要であり新しい風に向かい新しい芽を吹き出している段階にきている。今年度の事業計画は、財政の健全化、就業機会の拡充、会員数の増加、会員の安全・健康重視、当センターPRの充実として、より地域貢献へ発展していくと述べた。次の来賓挨拶は邑上守正市長が、英国のEU離脱と関連付けて当会員の離脱防止をジョークで一言、会場の雰囲気や和み、結びは当会員の地域貢献への感謝と、今後も市制と共に住みよい街づくりへの支援、力添えをお願い

いしたいと述べた。また、他の来賓の方々も当会員のこれまでの地域貢献を称え、これからの励ましの言葉をいただいた。

次に、恒例の会員永年表彰は20年が9人、10年が37人、東京しごと財団から1人、そして各代表者が壇上で山中会長から賞状と記念品を受け取った。その後は来賓が退席し前半の部は終了した。



20年表彰 安藤寛子会員



10年表彰 小林正男会員



財団表彰 森田相談役

続いて、議決権数の報告が山中会長からあり、定数が達していることを確認し、総会が成立した。次の議長選任は場内から、司会一任の声上がり、西久保の大石彰氏が指名され、賛同を得て登壇した。次いで、議事が進み監査報告、平成27年度事業報告、議決事項の平成27年度の承認が行われ、満場一致で可決した。その後は、議長退任挨拶、閉会挨拶は加藤之義理事からあり、終わりに参加者全員に集合写真の撮影を呼びかけた。会場の前方に出席者一同が集まり役員等と共に一期一会の記念写真に納まった。

最後に会場を後にする大勢の会員の姿には、新しい風を受けて、地域貢献の海原に出帆する大船のような意気込みが感じられた1日でした。



終了後の集合写真

平成28年度 理事・正副班長一覧

平成28年7月1日現在

正副班長は、シルバーからの配付書類などを、各会員のお宅までお届けしています

地区名	理事	班名	担当地区	班長	副班長
				氏名	氏名
吉祥寺東町	伏野 嘉高	1班	1丁目	川口 三男	遠藤 賢三
		2班	2丁目	西丸 信行	柏原 昌夫
		3班	3・4丁目	岡崎 勝利	入江 崇宏
吉祥寺南町	小坂 強	1班	1・2丁目	須崎 ミヨ	森山 文子
		2班	3丁目	井上 健	二宮 信子
		3班	4・5丁目	難波 重喜	落合 君代
御殿山 吉祥寺本町	岡部 正	1班	御殿山全域	日野 廣見	出口 君代
		2班	1丁目・2丁目	新谷 孝江	野徳 みはる
		3班	3丁目	江川 信人	
		4班	4丁目	川崎 照彦	比護 昇一郎
吉祥寺北町	小野 千鶴子	1班	1丁目・2丁目	小倉 成美	小島 明
		2班	3丁目	櫻井 勝實	蓮村 誠
		3班	4丁目1番・5～13番	鈴木 正吉	柳沼 和夫
		4班	4丁目2～4番と5丁目1番・5～7番	近藤 弘子	田中 真木子
		5班	5丁目2～4番・8～11番	森 壽伯	
中町	立松 正通	1班	1丁目	矢島 茂	
		2班	2丁目	武永 幌子	野澤 サワ
		3班	3丁目1～3番・6～8番・12～16番 19～22番・25～27番	西 和代	安東 紀子
		4班	3丁目4～5番・9～11番・17～18番 23～24番・28～29番	橋本 明尚	
西久保	安達 勝	1班	1丁目と2丁目23～32番	安部 絹江	三上 明子
		2班	2丁目1～22番	小関 一齊	佐藤 勉
		3班	3丁目1～10番	大石 雅子	小高 和子
		4班	3丁目11～26番	武富 秀文	濱口 智枝子
緑町	田中 雅子	1班	1丁目	三河 美智子	
		2班	2丁目3番(A号棟以外)	佐藤 建子	
		3班	2丁目6番(1～5号棟・9～11号棟 15～17号棟・21～24号棟)	江越 明美	
		4班	2丁目5～6番(6～8号棟・12～14号棟 18～20号棟)	加藤 カズ子	関口 イク
		5班	2丁目1～2番・3番(A号棟)・4番と3丁目	望月 光男	岡本 芳子
関前	今井 宏美	1班	1・2丁目	高田 昭	村田 正一
		2班	3丁目1～36番	長山 正雄	西村 清
		3班	3丁目37～41番と4丁目	眞下 靖夫	
		4班	5丁目	栗田 崇	桜井 文子
八幡町	加藤 伴子	1班	八幡町1・2・4丁目	榎本 代志子	
		2班	八幡町3丁目	石井 裕芳	
境南町	加藤 之義	1班	1丁目	植田 泰男	
		2班	2丁目	茂木 孟	吉野 美喜子
		3班	3丁目1～22番	小林 正男	江森 壽見子
		4班	4丁目	神保 伸一	小倉 たい子
		5班	3丁目23～25番と5丁目	後藤 順一	後藤 純子
境	舟山 五郎	1班	1丁目	十川 蓉子	鎌田 良
		2班	2丁目	山尾 哲夫	土屋 キク
		3班	3・4丁目	江戸 謙	山本 祺子
		4班	5丁目都営アパート	得田 信成	
		5班	5丁目(都営アパート以外)	関根 喜美子	武藤 秋夫
桜堤	船戸 勲	1班	1丁目1番・6～7番	高橋 晃	前田 榮子
		2班	1丁目2～5番・8～9番	佐伯 元枝	森住 よ志枝
		3班	2丁目(15番以外)	千葉 忠幸	松村 駿吉
		4班	2丁目15番と3丁目	清水 美恵子	大園 清志

平成28年度 職員担当表

平成28年7月1日現在

氏名	職名	部会・委員会	主な担当職務・業務	地区担当
山中 洋次	事務局長	総括	総括	総括
① グループ	平野 秀実	理事会、事業部会、総務部会、組織運営会議、適正就業委員会	予算・決算、事業計画、補助金、庶務、業務進行管理、派遣事業、避難行動支援体制	吉祥寺東町、吉祥寺南町、吉祥寺本町・御殿山、吉祥寺北町、中町・西久保
	中村 浩		施設開放管理(学校管理)、民間除草、公共緑化	吉祥寺東町、吉祥寺南町、吉祥寺本町・御殿山、吉祥寺北町
	永山 ゆう子	広報編集委員会	経理・給与・社会保険、配分金、桜野小(擁護・給食)、社会奉仕(第五小学校見守り隊・コーラス)、手芸小物班	中町・西久保、緑町、八幡町
	西川 かおる	広報編集委員会	植木班、ふすま班、筆耕班、運搬班、統計、就業支援講習	
	高橋 章		市報全戸配付・広報紙配付	
② グループ	大村 英太	理事会、総務部会、組織運営会議	理事会、予算・決算、補助金、業務進行管理、要支援サービス、派遣事業、ふれあい訪問収集、統計	緑町、八幡町、関前、境、境南町、桜堤
	岩田 俊英	事業部会	民間清掃	関前、境、境南町、桜堤
	村井 美保子		屋内外軽作業、公共清掃、補習教室、民間駐輪場管理、新規事業	
	下川 保		リサイクルセンター、便利班、パソコン教室、家具転倒防止器具取付、海外譲与自転車	
	井田 薫		福祉家事援助コーディネーター、福祉家事援助、子育て支援、いきいき支え合いヘルパー事業	
	吉野 三次	適正就業委員会、安全管理委員会	就業相談、安全管理推進員	
	塩澤 由紀子		庶務・会員管理	

研修委員会の現状と今後

研修委員会委員長 加藤 之義

会員のみなさま、研修委員会の存在をご存知ですか？

当センターの組織で総務部会傘下に位置付けられています。職掌・役割としては、既にお手元にお届けの「平成28年度事業計画・収支予算書」の3ページ「研修・講習会」の①を担っています。ここにはア～キまで7つのテーマが上がっています。

研修委員会は平成25年度期首に設置され、既に3年を経過しました。3年前、委員長・副委員長は理事が就任し、委員は会員から参画を求める形で立ち上がりました。しかし、限られた予算と職掌の大きさで、当初委員会の方向付けは参加メンバーの意見調整（位相合わせ）に手間どりました。委員長を務める理事の退任、参加いただいた委員の出入りなどに多くの時間を費やしました。

一方、当初よりの確定任務として、“入会説明会”を受け持ち、説明会に配布する資料作りから説明担当者の設定などに時間をかけました。「入会のしおり」「入会時研修テキスト」「規程集」の資料作成、入会説明会での説明委員としての習得に各委員とも根気強く取り組みました。

研修委員会の現在のメンバーは、正副委員長の理事2名に会員から3名の計5名となっています。この5名は当初より参加の者2名、27年度から参加の者3名ですが、ようやく目標設定が出来つつあるというところです。すなわち

- ・入会説明会は、上から目線ではなく、できるだけ入会希望者目線で実施する
- ・職群別会員不足を補う、具体的職種向けセンターの説明会を実施する
- ・会員向け研修は、未就業会員への就業促進説明会を開催する
- ・各種仕事の具体的内容・テクニックや楽しさを伝える座談会的会合を開催する
- ・各種研修・講習会の開催は、参加者目線での案内を研究、実施する

等々の方向づけで取り組み始めました。

しかし、限られた予算と人材での展開には、5

人だけの研修委員会では不足し、上部組織の総務部会、理事会での協力要請が重要となっています。このレポートをお読みくださった会員のみなさま、お気づきの点など積極的にお寄せください。

今後の計画ですが、前述した目標設定のフレッシュアップと参加者の動員アップに拍車をかけることを考えていきます。研修・講習会は準備したものの、参加者が少なかったり、ただ参加いただいただけでは、開催準備も徒労に終始します。“私も参加しよう”“参加してよかった”という効果を実感できるものにしていきます。

ひいては、武蔵野市シルバー人材センターに入会してよかった、就業につながった、素晴らしい仲間と出会えた等々と実感してもらえる「研修委員会」にしていきたいと考えています。今後の「研修委員会」からの発信に、会員のみなさまよろしく関心をもってご協力くださいますよう、一同衷心よりお願い申し上げます。

最後となりますが、「自主・自立」「共働・共助」の理念実現には、役員（理事・監事、地区班長・副班長、職群リーダー等）の任務遂行が一段と重要になってまいります。

組織の強化には、先頭を走るリーダーのレベルアップは欠かせません。現在でも年に何回かリーダー研修が実施されていますが、より確固としたものにするため各種研修・講習会の実施と回数頻度を増やす予定です。よろしくご理解ください。

＜平成28年7月1日現在研修委員会メンバー＞

委員長：加藤之義（境南町地区理事）

副委員長：小野千鶴子（吉祥寺北町地区理事）

委員：田辺正美（境会員）、小林英一郎（吉祥寺南町会員）、須永孝子（境会員）

家事援助料理講習会 5月19日

高齢者食事学から管理栄養士の阿部節子先生をお招きして中央コミセンにて開催しました。あっという間に見栄えのする食事が出来上がりました。次回も企画中です！



私のふるさと

—— 第11回 長野県佐久市 ——

中町 吉澤 房 武



佐久市

★この国の盆地に生まれた人は、必ずと言っていいほど同じ言葉で故郷を自慢げに形容する。「山紫水明」である。吉澤さんのふるさとの長野県佐久市も山紫水明の盆地で、最近政府が推進する、全国七つの市・町に50歳以上の人が移り住む生活協同体「ついのすみか」の一つに選ばれた。

佐久市は長野県東部に位置し、南北を小海線が貫いているが、上信越道佐久IC開設と北陸新幹線佐久平駅開業により発展し続けている。地方都市には珍しく人口が増加し続ける町である。

●私は昭和8年、現佐久市岩村田の相生という所で生まれました。佐久市発足は昭和36年で当時は岩村田町でした。父は隣町の中込町役場に勤める公務員で、私は10人兄弟の7番目です。上に姉四人、兄二人、下に弟二人、妹が一人いました。

★岩村田は中山道の江戸から数えて22番目の宿場町で、吉澤さんが生まれた相生は、(信濃)追分で善光寺に行く北国街道と岐れた中山道が、佐久甲州街道と合流する交通の要衝だった。なお、佐久甲州街道とは江戸から下諏訪に行く甲州街道ではなく、甲州荊崎と信州小諸を結ぶ往還で、その大半が現在の国道141号線になっている。

●私が生まれた家は狭い旧佐久甲州街道に面していましたが、小学生時代に太い道路が作られました。それが現在のメインストリートになっています。太い道路の開通後、私の家の前の道は「古道」と呼ばれるようになってしまいました。

子どもの頃の遊びで思い出すのは川遊びです。近くに湯川という川が流れていました。浅間山の麓から流れてくる清流で、岩村田の何キロか南で千曲川に合流します。その川でウグイやアユを獲りました。獲った魚はおかずになりました。川魚といえば佐久は鯉が有名です。養殖池だけでなく水田でも飼われていて、ときどき父が農家の人から貰ってきたのを母が料理してくれました。

★吉澤少年が小学校3年の12月、太平洋戦争が始まった。幸いなことに10人兄弟は上から順に女の子。昭和2年生まれの長男はまだ14歳だったから、4人の男の子は兵役に就かずに済んだ。

とはいえ、信州の山里も戦争は身近にあった。吉澤さんが小学校5、6年の時は軍事教練の時間が多かった。教官は現役の将校で子どもたちは殴られてばかりいた。

●田舎とはいえ、子たくさんうえに農家でもない我が家は食糧難でした。家から離れた所に畑を借りて、一家総出で農作業をし、小学生の私も手伝いました。春には山菜採りです。高校生のリーダーに引率されて、小・中学生が入山したのです。レジャーではなく、食糧確保のお勤めでした。

また小学校全校生徒でのウサギ狩りも忘れられない思い出です。みんなでウサギを山頂まで追い上げると、大人が鉄砲で撃つのです。獲物は鍋で煮てみんなに振舞われました。

●小学校5年になった昭和19年、軍事教練の合間に小海線岩村田駅に行って出征兵士を見送ったり、英霊のお迎えをやりました。見送りは毎日ではありませんでしたが、お出迎えは毎日で、白い布にくるまれた箱が帰ってきました。しかし中身は空っぽのことが多かったようです。

★戦争が終わった翌年、吉澤さんは中学生になった。男子校の岩村田町立岩村田中学校だが、昭和23年の学制改革により新制となり、3年生の時は共学になっていた。

●中学校では理科班に入っていました。電気に興味があったからです。中学校には広いグラウンドがあったのですが、食糧生産のため畑になっていましたから、3年間の間に体育の授業はありませんでした。

★その後、県立岩村田高校に進学した吉澤さんは、昭和28年に上京することになる。地元の仕事が見つからないから東京に来たのだが、本当はあの山紫水明の地で暮らし続けたかった。それが吉澤さんの想いである。



(聞き手 編集部 遠藤) 中段左から二番目が吉澤さん

武蔵野・ぶらり・時空旅

8

吉祥寺北町 下谷 一廣

「橋ものがたり」 その1

今回は「橋ものがたり」と題して武蔵野市にある橋にまつわる話その1です。

武蔵野市が管轄する橋がいくつあるかご存知ですか？ なんと43橋もあるのです。

市役所に行き“橋梁位置図”まで頂き確かめたのですから間違いありません。

しかしこれはあくまでも行政上の区分による数です。

“橋”といえば当然“川”がなければなりません。武蔵野市に関わる川は三つ。

玉川上水、千川上水そして仙川（センガワと通称）です。玉川上水も千川上水も市の境界を流れているため、ある橋は三鷹市であったりまたある橋は西東京市の管轄であったりしてとても複雑です。そのことはわきに置いて第一話は千川上水に架かる橋にまつわる話です。

この上水はご存知の通り、境橋の辺りで玉川上水から分水し元禄九年（1696）に江戸の小石川御殿、湯島聖堂、寛永寺、浅草御殿の4か所に水を送る目的で開削されました。当初は飲み水として使われていましたが享保七年には上水としては廃止され、主に農業用水として大きな役割を果たしました。明治以降も紆余曲折あって昭和40年

代には清流は見る影もなく瀕死寸前の川になっていましたがその後、清流復活事業が推進され平成元年に約5kmの清流と遊歩道が整備されました。

早速、吉祥寺橋から上流の境橋に向かってスタートしましょう。実はこの橋、練馬区の管轄でこの橋より西への下流は暗渠になっています。吉祥寺橋から東に向かって20mほど歩くと東北浦橋でここからが武蔵野市の管轄になります。

次が桂橋→北浦橋→菊田橋→無名橋→西北浦橋→無名橋→更新橋と続きます。

歩いたのは桜の花が満開をかなり過ぎた時期でしたがそれでも上水沿いに植えられた桜とケヤキの新芽と土手の桜草が調和してとてもいい眺めでした。その中心に清流がありせせらぎの音も聞こえてきます。いくつかの小さな橋の上でしばし佇み、大きな鯉がゆったりと泳いでいるのを見ていました。

家からも近く、静かで心安らぐ散策道があるとは！ 改めて「清流復活」に尽力された方々に喝采を送りたいと思いました。

古来より橋はただ対岸に渡るための存在ではなく、道の辻、峠などと同じように靈魂や悪霊が去来する特別な場所でもありました。それがため悪霊や災禍の侵入を防ぎ神を慰めるとの願いを込めて橋の供養をし、庚申塔などが橋の傍らに建てられたということです。また人が出合い、集まり散っていく場所でもあり男と女、親と子が様々な物語を紡ぎだしてきた舞台でもありました。



東北浦橋



東北浦橋の上流方向



更新橋から下流へ

更新橋の庚申塔（有形民俗文化財）

中央通りに架かる更新橋の北詰に小さな祠があり、そこには石彫の青面金剛が祀られています。この石造りの青面金剛像は江戸時代 安永4年（1775）に造られました。青面金剛は庚申信仰の主導で病鬼を払い除くと思われていました。江戸時代には道教の説く「三尸説（さんしせつ）」をもとに仏教、密教、民間信仰などが複雑に絡み合った複合信仰である庚申信仰が大変盛んでした。武蔵野市内にも江戸時代に造られたいくつもの庚申塚、庚申供養塔が残されています。

祠には格子戸があって中を詳しく見ることは出来ないのですが憤怒の形相の金剛像がありその頭の上に何か載せていますが私の解釈では桃の実だと思います。

この青面金剛像は市の有形文化財に指定されています。資料を調べてみると石像の右側面には造立に関わった西窪村の4名の名前と「右府中道」。左側面には吉祥寺村の5名の名前と石工・関長右衛門の名前があり「左深大寺道」と彫られているということです。ここに名前のある西窪村と吉祥寺村の方々が共同で資金を出して造立したようです。

道標の役割もしていたようですから、もともとはここにあったものではなく、^{みごおりばし}三郡橋の傍にあったと「武蔵野市の史跡を訪ねて」にも書かれています。

私見ですが更新橋の名前にも違和感がありま

す。本来は庚申橋だったのではないのでしょうか。橋の名前の由来をご存知の方があれば是非教えてください。

更新橋→西窪橋→無名橋→三郡橋と続いています。

三郡橋は名前が示す通り、昔は新座郡上保谷新田、北豊島郡関村、北多摩郡関前村の三つの郡の境界に位置していました。

三郡橋に来て地図をみるとここから南へ進めば玉川上水に架かる大橋に出ることが分かります。この橋をさらに南へ行けば深大寺です。昔大師道と呼ばれた道です。とすれば更新橋の傍に設置されていた青面金剛は三郡橋にあったという話に納得できます。藤沢周平に「橋ものがたり」という市井人情物の名作短編集がありますが、200年ほど昔にこの三郡橋で吉祥寺村の大工と関前村名主の娘がこの三郡橋で出会い深大寺にお参りに行ったかもしれないなどと、馬鹿なことを想像しながら千川上水沿いの遊歩道を歩いてみました。三郡橋から関前橋→無名橋→千川橋→葭窪橋→鎮守橋→柳橋→樋口橋→蛭橋→境橋と続いています。関前橋からのこの区間は五日市街道が横を走っていて車の往来も結構ありますが遊歩道は別にあり安心して歩けます。

是非、橋を道標（みちしるべ）に千川上水沿いの遊歩道を歩いてみてください。

※文中のゴシック文字は武蔵野市の橋です。



庚申塚の祠



祠の中の青面金剛像



三郡橋

ひろば

ゾウのはな子さん安らかに…

長年、愛されてきた国内最高齢のゾウのはな子が、飼育されていた井の頭自然文化園で死んだのです。5月26日午後3時4分に苦しまず穏やかに死んだことが確認されました。同園にくるたびに元気なはな子の姿をみて励まされたことを思い出します。

はな子の死から一夜明けた翌日の朝、69歳という長寿を生きたはな子に、別れを告げようと地元の子どもから高齢者まで、大勢のファンが押し寄せました。私も孫が遊びに来るたびに、はな子に会いに行った思いでもあり、その孫も今では高校生になりました。

ゾウ舎前には献花台が設けられ、午前中から老若男

女を問わず多くの方が献花に訪れ、またメッセージには、「ありがとう」「お疲れさま」「はな子さんやすらかに」と多くの方々から寄せられていました。来園者は元気だったころのはな子を偲び、「大人になってからも良く来た。落ちこんだとき、元氣をもらいに会いに来た」「会社勤めをしているときは、あまり意識しなかったが、定年後ははな子と年代と意識するようになった。70歳まで生きて欲しかった」と別れを惜しんでいました。

(境南町 江森壽見子)



むさしのSCトピックス

- 4/3(日) 武蔵野桜まつり
- 4/22(金) 自転車安全運転講習会
- 4/26(火) 家事援助説明会
- 5/12(木) 羽村市役所による補習教室視察
- 5/16(月) 安全標語表彰式
- 6/5(日) 市内三駅周辺一斉清掃
- 6/7(火) コーラス「福寿草」訪問コーラス
- 6/8(水) 認定ヘルパーフォローアップ研修
- 6/9(木) 地区班長・副班長会議



自転車安全運転講習会



家事援助説明会



安全標語表彰

編集後記

今年も暑い夏がやってきました。

東日本大震災から復興もままならないまま約5年半、今年は熊本県を中心に連続地震で安否を気遣う中で、6月24日に平成28年度定時総会を盛会裡に終えました。

本号がお手元に届く頃にはリオオリパラ開幕寸前で、観戦用に体力の温存をお考えの方が多いと思います。特に次回が東京という事で、否応なしに盛り上がると思います。地球の裏側で開催されていますので、翌日の就業状況に依っては録画を活用して寝不足には留意したいと思います。優れた選手たちの頑張りに活力を頂いて、毎年の事ですが、夏バテと熱中症にも充分注意し、この夏を乗り越えましょう。

今年度は就業種別説明会・研修会が開催され、派遣事業開始の年です。出来る限り研修会などに参加され、ご自身のスキルを向上させて置きましょう。(T)